

第4回 札幌市総合交通計画策定委員会 質疑概要（平成23年2月4日開催）

駐車場（実態調査結果を踏まえた駐車場施策の考え方）

- 副委員長 ● 公共交通を重点的に行うということであれば、現行の附置義務条例における一般車両と荷さばき車両のバランスを少しシフトさせて、荷さばき施設を重点的に整備していくことを考えた方が良いのではないか。
- 事務局 ● 今後、公共で駐車場を整備することはないが、附置義務の駐車場は確保していく。また、都心部における荷さばきというのは非常に重要な課題であることから、今後、創世 1.1.1 区等の再開発の中で、今以上の台数を確保するようお願いしていきたいと考えている。
- 委員長 ● 委員会としては、駐車場施策について、もう少し書き込みをしていく必要があると考える。
-

計画理念・基本方針について

- 委員 ● 市民レベルで言うと、前回の計画理念よりはわかりやすくなったと感じる。
● この計画理念に基づいて、細かな部分まで計画に取り込む必要があると感じている。
- 委員 ● 計画理念はすごく良くなったと感じる。
● 基本的には車はまちの中に余り入ってこないという姿勢があってもいいのではないか。
- 委員 ● 前回と比べると大変わかりやすくなったと思う。
● 資料の表現の中で、同じキーワードが何度も繰り返されていたので、まとめられるものはもう少しまとめて、少しスリムにしていって方がよい。
● どのようにわかりやすく市民に伝えるかが重要である。
- 事務局 ● 市民に今一度自分の交通行動を考えていただくという意味でも、「バランス」という発信により、より分かりやすい方向になると考えている。指摘のとおり重複しているところがあるため、このことについて議論をいただきたいと考えている。
-

-
- | | |
|------|---|
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">● 「自動車利用・サービス・役割のバランス」というと、この3つのバランスのように捉えられる。それぞれのバランスということであれば表現を変えた方が良い。● この計画理念の中には市民へのメッセージが含まれていると思うが、市民にとって、自分たちのライフスタイルをどのように変えていくべきなのかという部分が少し見えない。 |
| 副委員長 | <ul style="list-style-type: none">● 計画の中に、市民へのメッセージとともに、札幌市として交通の側面からどのような都市経営をやっていくかということを宣言することが必要である。● それぞれの課題に対して3つのバランスで受けるのではなく、それらを踏まえて、交通計画として何をするのかという整理ができるのではないか。 |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none">● 3つの視点の「環境」の説明のうち、「多様なライフスタイルに対応した」という記述は暮らしの記述と混同している印象を受けるので整理が必要である。● この計画を市民に対するメッセージとして、どう伝えるかという部分の書き込みが少し足りない。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">● 計画理念の中にぜひ環境をうたって欲しい。今、環境局の方でも「札幌市温暖化対策推進ビジョン」というものを策定しており、ここで掲げている目標をこの計画で実現する必要があると考えている。● 自転車の走行環境については、「自転車利用あり方検討会議」で指摘しているので、もう少し現状と課題の中に入れた方が良いのではないか。 |
-

交通戦略について

- | | |
|-----|--|
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none">● 言いたいことは何となく理解できるが、資料の作りこみの部分で修正するところは多々あると思う。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">● 13ページのマトリックスを最初に持ってきて、その後それらの説明をしていく方が理解しやすいのではないか。● 力点の中でも特にこれというものがあれば、それをもっと明確に打ち出した方が良い。● マトリックスの埋まり具合をみると、力点をもう少しまとめても良いのではないか。 |
-

-
- | | |
|--------|---|
| 委員（続き） | <ul style="list-style-type: none">● 公共交通の指標に関しては「近くから使える」と「待たずに使える」かのどちらに優先順位を置くかによって、指標の立て方が変わってくるので、そのあたりも整理しておく必要がある。● 関係主体が果たすべき役割の中の書き方の順番として、まず行政（札幌市）がどうしたいのかをアピールすべきだ。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">● パッケージの順番と資料 1 の 5 6 ページにある上位計画やそこから導き出される「キーワード」との関連性について整理した方が良い。 |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none">● 除雪については、担当部局で実施する部分が多いと思うが、交通の立場で冬期の公共交通の利用など情報提供を行うことも考えられることから、冬期交通に関するパッケージがあっても良いのではないか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">● 「冬のみちづくりプラン」で考え方を整理しており、指摘いただいた事項について反映できるものがあると考えている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">● 「札幌市温暖化対策推進ビジョン」の中では運輸部門で 58 万トンの削減をするということになっているが、その実現のため、本計画で自動車から公共交通への転換等を推進するにあたり、具体的な削減量を整理して成果目標に入れ込んでほしい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">● 交通分野として、こういったことに目標をおくかということに関して、これから議論を深めていきたいと考えている。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">● 13 ページのマトリックスの中で、バスの 10 年後は路線バス網の維持となっているが、今後 10 年間はバス網の再編というよりもバス網の維持が目標なのか。● 「バス路線などの幹線道路整備」とは、どんなことをやるイメージなのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">● 現在、民間のバス事業者と今後どのような取り組みをしていくかという検討をしている最中であり、その中でどのような表現ができるかを考えていきたい。● 例えば、冬に道幅が狭くバスの通行の障害となっている区間について、バス利用の円滑性に資するような道路整備を引き続き行うとともに、スポット的な拡幅整備も含めて、公共交通を支援する視点を持ちながら、関係部局と協議を進めていきたい。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">● 公共交通のカバー圏人口のところで、公共交通カバーエリアを広げるのではなく、コンパクトなまちづくりと連動して軌道系交通の駅周辺の人口密度を上げるという考え方もあるのではないか。 |
-

-
- | | |
|------|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">● 成果指標については、今後、内部で議論を必要としているところであり、現況値や目標値の数値化等の課題もあることから、引き続き検討を行う。 |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none">● 13 ページの地下鉄の施策について、割引料金の多様化や地下通路ができた後の新たな展開も考えられると思うので、ICカード以外の他の取り組みについても検討した方がよい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">● 地下鉄の事業展開として、ICカード以外では地下鉄のホームドアの設置を進めているところもあることから、事業部局と連携して書き込みの充実に努めていきたい。 |
| 副委員長 | <ul style="list-style-type: none">● 同じ施策が何度も出てくるが、それぞれの力点に応じて、どこの部局と、または交通以外のどういう計画と連携をしながら、もう少し具体的な施策を検討していくなどの投げ返しがあっても良いのではないか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none">● 直接行う施策と関連するまちづくり計画と分けて、分かりやすく整理を行っていく。 |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none">● 広告電車やバス停の広告付き上屋など、景観という観点（広くはまちづくり）と交通施策をどう位置付けて、どのように取り組んでいくのか、整理が必要ではないか。 |
| 委員長 | <ul style="list-style-type: none">● 力点6にもあるように、景観だけでなくバス利用や利便性ということにもつながるため整理は必要である。力点6を中心に、案内の仕方や景観等について何か展開できると良い。 |
-